

# お待たせしました！ 「クロスロード新聞」 いよいよ発刊！

## 県主催！全国注目の先進的な試み！ クロスロードファシリテータ養成研修開催さる！

2005年11月4日、高知県庁正庁ホールで、画期的な試みが行われました。それこそ「クロスロード・ファシリテータ研修(市町村職員等災害対応能力向上研修)」です。

クロスロードとは、チームクロスロードが開発した災害対応の机上訓練の1つです。カードという簡便な形式を用いつつ、参加者の積極的な参加と問題の共有、問題の新たな発見、合意形成へとつながっていくように工夫されたものです。

これまで、全国のさまざまな自治体でクロスロード研修がおこなわれてきました。しかし、これまでその進行役「ファシリテータ」の養成までは行われてきませんでした。高知県では、全国で初めて、クロスロード普及の担い手を作るといふ、この新しい研修を実施することになりました。

また、このような「ファシリテータ」



うーむ、と悩む参加者のみなさん

は、クロスロードのみならず、ワークショップや住民集会などの進行役としても注目されています。

クロスロード研修でクロスロードの進行だけでなく、ファシリテータとしての基本的な技術を身につけて帰られる受講生のみなさんの今後の活躍が期待されているところです。

## 東洋町産業建設課の長崎正仁さんは語る

日時「平成17年7月12日・13日」  
場所「東洋町役場会議室」

東洋町の全職員研修(60人)を対象に、クロスロード(神戸編1シート)を1時間×2回行いました。クロスロードを初めてやった東洋町職員は、話がとまらないほどのめり込み、そして座布団のとりあいになるほど燃えました。こんなにのめり込む研修は初めてだったんじゃないかな。参加型だったのがよかったと思う。今回の研修は、災害時のイメージを持ってもらうことと防災への意識付けを目的としていた。

よく議論がされたということは、災害時のイメージがよく湧いたからだと思う。

過去の事例が、正解というわけじゃない。災害以前に、人と意見を共有できることがよいと思った。

東洋町の全職員研修では、カードのディスカッションのみだったので、今回は事例の解説を取り入れたい。クロスロード・ファシリテータ講習に参加したのもそういう理由からだ。

\*東洋町のクロスロードの取り入れ例：防災研修5回のうち、第2回目座学の2時間のうち1時間をクロスロードに当てる

\*昨年からのクロスロードの演習を町内の研修に取り入れたところは、ほかに佐賀町、春野町がある。

### 目次

ファシリテータ養成 1  
研修開催！

長崎正仁さんは語る 1

私とクロスロード： 2  
酒井浩一さんは語る

発表！クロスロード 2  
の新しいロゴ！

「新作問題」ただい 2  
ま募集中！

クロスロード進級認 2  
定制度

こんなところに心理 3  
学(1)

「ぼうさいダック」 3  
も販売中

クロスロードって 3

クロスロード裏話 4

「とほほ」クロス 4  
ロード

クロスロードの 4  
●●族

クロスロード次号のご案内  
発行予定日：12.24.  
お待ちかね「私のクロス  
ロード」本格スタート、好  
評連載、マンガも続々登場

### 責任編集

- ・ チームクロスロード
- ・ クロスロード・サポーター
- ・ SPECIAL THANKS:  
高知県危機管理課  
小溝智子(漫画企画)

## 私とクロスロード： クロスロードについて私はこう考える

クロスロードを高知県の研修に取り入れるきっかけをつくられた酒井浩一氏（現高知県企画調整課チーフ・元危機管理課地震防災企画担当チーフ）から、私とクロスロードについて、次のような一文を寄せていただきました。

クロスロードを主催する側のポイントは、YES、NOの解説とかをするのではなく、こんなことで悩んで欲しいというハート（想い）を伝えることなのではないかと思っています。つまり、最適解を求めるのではなく、何が問題なのかということの追究ではないかと思っています。最適解は、問を放った個人の心にしかないというのが私の持論であり、そのため、問を放つことが重要だと考えています。

## 「クロスロード新作問題(私のクロスロード)」ただいま、募集中！

あなた自身のクロスロード(新作問題)を募集中です。お送りくださったクロスロードは、この新聞に掲載し、皆様とともに共有していきたいと考えています(応募の詳細については、以下のファシリテータ進級制度もご参照ください。)

たとえば、他の研修会で行った「私のクロスロード」には、次のようなものがありました。

(1)あなたは市町村職員です。地震発生後の登庁途中に、住民の人たちから、救助活動への参加を呼びかけられました。あなたは、救出活動を手伝いますか?登庁しますか?

実際に阪神淡路大震災の時、ある企業から派遣された社員の方が、現場の写真を撮ってくるよう上司から命令されていたのにもかかわらず、現場の惨状を見かねて救出活動

## ファシリテータ進級制度始まる

チームクロスロードでは、このたび高知県危機管理課のご協力を得て、ファシリテータ進級制度を導入することになりました。

進級制度は、ファシリテータ研修を受講くださった方(初級認定)の実践を、チームクロスロードが支援するためのしくみとお考えください。進級された方は、認定証をお送りするほか、お名前を「クロスロード新聞」に掲載致します。

進級条件は右の通りです。ふるってご応募ください。

【応募先】108-8345 港区三田2-15-45  
慶應義塾大学商学部 吉川肇子研究室内  
クロスロードサポーター事務局  
電話：06-5427-1251  
ファックス：03-5427-1578  
メール：kikkawa@aoni.waseda.jp



### CROSSROAD

クロスロードの新しいロゴが決まりました。英語のクロスロード(crossroad)には、「分かれ道」という意味と「(人が集う)辻、十字路」という意味があります。新しいロゴでは、決断を要する分岐点を矢印で、また人が集う「辻」を2人の人をイメージさせる形で表現しました。また、向かい合う矢印は、これらの人々の間で意見が活発に交換される、すなわち、コミュニケーションを意味しています。

クロスロード本体と共に、新しいロゴもどうぞごひいきにお願いします。

発表！  
クロスロードの新しい  
ロゴが決まりました！

を手伝い、結局写真を1枚も撮れなかった、という事例もありました。公的な職にある人と、私企業の社員を簡単には比べられませんが、実際に目の前に救助すべき人がいるとしたら、どちらを優先すべきか、誰もが悩むところでしょう。本当のところ、あなたならどうしますか?

もう一つ、大学生が作ったクロスロードも紹介します。(2)あなたは家をなくして親と同居の大学生。被災後で家族のことや身の回りのことも大変な時期で、留年のかかったテストが迫っています。あなたは授業に出席する?休む?

今時の大学生がどんな暮らしをして、災害といえどどんな状況を想定しているのか、ちょっと垣間見られるような気がしませんか?

中級	以下の2つのどちらか一方の条件を満たされた方 (1)クロスロードを、ファシリテータとして実践し、その報告をくださった方(専用の「実践報告フォーム」をお使いください。) (2)クロスロード新作(私のクロスロード)を作成くださった方(専用の「新作応募フォーム」をお使いください)
上級	以下の2つのどちらか一方の条件を満たされた方 (1)中級認定以降、クロスロードを、ファシリテータとして5回以上実践し、その報告をくださった方(専用の「実践報告フォーム」をお使いください。) (2)中級認定以降、クロスロードを用いた(防災)研修システムの提案をくださった方 例：防災研修プログラムのこの場面使ってみた、授業の一環に取り入れた (この場合の報告の書式は自由です。できるだけ内容がわかるようにお書きください。たとえば授業案などをお送りいただいても結構です。)

## 連載「こんなところに心理学：(1)東京ディズニーランドで群集制御を学ぼう！」

災害対応には、人の行動を知ることが大切。このコラムでは、知ってお得な心理学豆知識をシリーズでお届けします。

第1回は上手な群集制御。大きな災害になるほど、たくさんの人を相手にしなくてはなりません。そんなとき、どうすれば人々をうまく誘導できるのでしょうか？

参考になるヒントが東京ディズニーランドにあります。人気のアトラクションほど長時間行列しなくてはなりません。行列の作り方に秘密があるって知ってましたか？それは、行列をジグザグに折りたたむことです。1列に長い行列だと、入り口が遠くになってしまいます。すると、「まだ、こんなに並ぶの～」と、イライラするものです。しかし、行列を折りたたむと、入り口が目に見える範囲にあるので、行列の長さがそれほどでもない、と錯覚するのです。できるだけ動線を長くして、ちょっとずつ歩かせる。多くの人をイライラさせずに行列させる極意なんです

よ。

行列しているあなたの目の前に、ミッキーなどの着ぐるみが登場することがありませんか。これも、行列の長さをつかの間忘れてもらうための工夫なのです。

多くの人が集まるディズニーランドには、このほかにも工夫がいっぱい！次の連休にはぜひ、ディズニーランドで群集制御の心理学を学んでください。



折りたたまれている行列

## 「ぼうさいダック」好評販売中！

じっくり考え話し合うクロスロードもいいけれど、子どもと一緒に遊べるもう一つの防災ゲーム「ぼうさいダック」をご存じですか？

「ぼうさいダック」は、安全・安心の「最初の第一歩（ファースト・ムーヴ）」を、子どもたちが実際に身体を動かし、声を出して遊びながら学んでもらうためのカードゲームです。カードには、防災や日常の危険から身を守ることを学ぶものだけでなく、挨拶やマナーといった日常の習慣について学べるものも含まれています。

お得な内容で破格の低価格、以下の損害保険協会のホームページからお申し込みください。



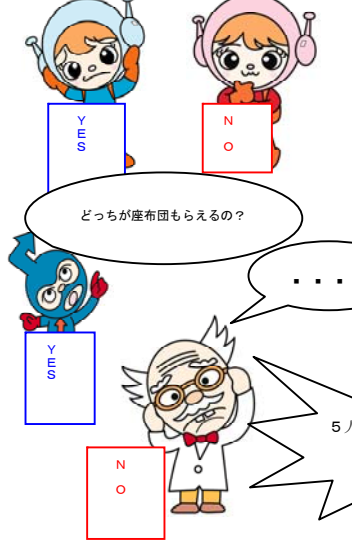
[http://www.sonpo.or.jp/action/release/news\\_bosaiduck.html](http://www.sonpo.or.jp/action/release/news_bosaiduck.html)



まず あたまを まもろう。  
(ぼうさいダックつくえのしだいに もくろもう。)

ぼうさいダック

## クロスロードって.....

<p>地震時の災害対応力を鍛えるゲームができたのじゃ。その名も「クロスロード」!!</p> 	<p>トランプ版のカードに災害時に出会うジレンマが書いてあって、YESかNOか、議論を深めるのじゃ。これが、なかなか盛り上がる!</p> <p>あなたは 防災担当者 もし・・・ ジレンマ</p> <p>YES</p> <p>NO</p>	<p>意見の多数派には、チップがわりに、座布団がもらえる。</p>  <p>これを集めるのも楽しいのじゃ!</p>	 <p>どっちが座布団もらえるの？</p> <p>.....</p> <p>5人でやってね!!</p>
---	--	--	---

©やなせたかし



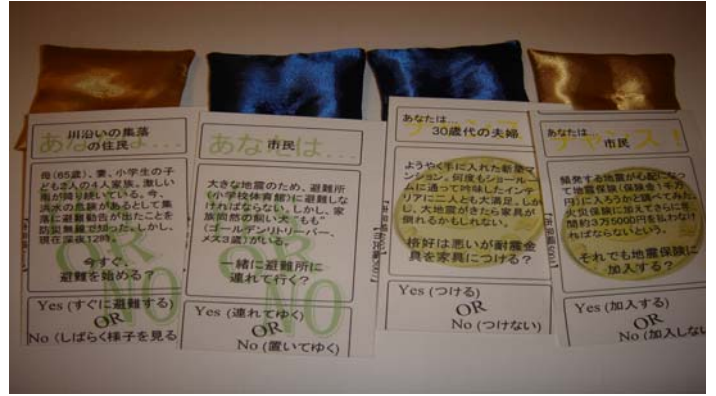
# クロスロード「裏」話

本には書けなかったクロスロードの裏話、この新聞の裏にお届けします。話の裏も是非読んで下さいね。

クロスロード、ルールはシンプル。でも、取り組み方はさまざま。たとえば、ポイント（点数）を数える道具として使っているお馴染み「座布団」ですが、ある年配以上の方は、『笑点』よろしく、つつい積み上げてしまう方が多いようです。10枚たまったら…と想像している方もおられるようです。

でも、こんな方もいらっしゃいました。それは、ある小学校の先生でした。その方は、自分の意見を表明し、議論し終わった問題カード1枚1枚に、そのカードで手に入れた座布団を丁寧に対応づけて並べておられたのです。こうすることで、「自分は、この問題カードでは青座布団をもらった。でも、ほんとにその意見でよかったのだろうか」、あるいは、「この問題カードでは一人少数派になって金座布団をゲット。ほかの人たちはどんな理由で反対されたんだっけ？」……後から思い起こせるから、らしい

のです。これには私たちも大いに考えさせられました。やりっぱなしではなくて、ゲームが終わったら、自分や同じグループの方がどんな決断をしたのか、もう一度思い返してみることも大切ですね。



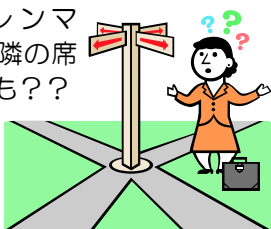
ざぶとんに「座る」カードたち

## はみ出しコラム：私の「とほほ」クロスロード

クロスロード番外編。災害対応以外でも、「あれかこれか」と迷うジレンマ、あなたにもありませんか？

そんな日常生活のちょっとしたジレンマもお寄せください。たとえば、こんな「とほほ」なものも。

えっ？誰のジレンマかって？あなたの隣の席の「あの人」のかも？



私は	三十代後半のOL「めのした・くまこ」です。
ジレンマの起こる状況	災害対応やたまった仕事を片付ける残業が続き、家事が夜できない。低血圧で朝起きにくいうえに、出がけに何でも家事を片付けておこうとし、出勤前の短い時間帯は「家事」と「身支度」の優先順位に悩む。本日は、出勤時間にあと5分のゆとりしかないが、洗濯機で洗濯ができあがったとブザーが鳴った。が、まだ化粧もしていない。洗濯物を干すのを諦めて、化粧をする？
YESの答え	化粧をする。
NOの答え	洗濯物を干す。

## クロスロードの●●族：きっとあなたの隣にも。。。。

<p>クロスロード上にも手強い族がいる。</p> <p>例えば「ギンミ族」</p> <p>こんなシンプルな条件で答えは出せん！！</p>	<p>例えば「ソモソモ族」</p> <p>このカード嫌い！ そもそも、私、職場に出勤しないわ！！</p>	<p>例えば「ハテナ族」</p> <p>罹災証明って何？</p> <p>さあ？</p> <p>????????????</p>	<p>そして、帰り道の「モンモン族」</p>
--	--	---	------------------------

結局、YESかNoか、答えが出ん！！